

# 全鉄連情報

平成21年 2月15日刊

〔第70号〕

目次

P 1～2 加盟団体報告  
P 2 鉄鋼課連絡会報告  
P 2 常任理事会報告  
P 2～4 鉄流懇報告

P 4 会員投稿  
P 4 企業消息  
P 4 会員入退会  
P 5 業況アンケート結果

全国鉄鋼販売業連合会広報委員会主管

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10鉄鋼会館6F ☎03-3808-2350 FAX03-3808-2358

## 加盟団体報告

(平成20年12月1日  
～21年 1月31日)

### 悪い環境下で決意、新たに

#### △香川県鉄鋼協会

(秋山元治郎会長)

1月5日(月)リーガホテルゼスト高松で新年賀詞交歓会を開催。約80名が出席した。秋山会長は「昨年は激動の1年だった。前半は好調だったが、世界同時不況の影響で後半は減速した。このような悪い環境であっても我々は歯を食いしばって、石にかじりついてでも、生き延びていかねばならない。ご支援、ご協力をいただき、頑張っていきたい」と挨拶した。徳増有治・四国経済産業局長、安川昌秀・新日本製鐵四国営業所長、齋藤隆・三井物産四国支店長の3氏がそれぞれ祝辞を披露。安岡弘道・サカコー社長の音頭で乾杯し、懇親に移った。

### 北陸新幹線関連需要に期待

#### △福井県鋼材販売事業協同組合

(山本正敏理事長)

1月6日(火)福井市内のウェルシティ福井で新年会を開催した。挨拶に立った山本理事長は「昨年は大きな波乱があり百年に一度の危機と言われる状態になった。あらゆる業種が厳しく、我々特約店も厳しいことに変わりはない。単価が下がり売上高も減少すると思う。昨年一昨年のようなわけにはいかないが、北陸新幹線などのプロジェクトに期待して頑張っていこう」と述べていた。当日の出席者は65名だった。

### 不況打破を呼び掛ける

#### △静岡県鉄鋼販売連合会

(近藤安敏会長)

県下の鉄鋼関係者が一堂に会する静岡県鉄鋼人賀詞交歓会が1月15日(木)夕刻より静岡グランドホテル中島屋に約160名が参集し開催された。冒頭、近藤会長は「現状は先の見えない暗闇である。が、60年あまり前の敗戦で一瞬にして衣食住のすべてを失った日本が、不屈の精神と馬力で復興を遂げたパワーとエネルギーを思い起こし、頑張っ共々に不況を打破しよう」と呼びかけた。来賓として招かれた全鉄連・林喜裕会長は「経営の神様と称されて先達は『何事も平素の心掛け次第』と言い残している」として有事を想定した日頃の準備が大切であると述べていた。

### 不況の時を乗り切ろう

#### △栃木県鉄友会

(高橋和典会長)

1月16日(金)夕刻、宇都宮グランドホテルで1月例会を開催。会員15社中14社が出席した。開催に当たり高橋会長は「昨年秋以降の悪い流れのまま新年がスタートした。今年はずっと厳しい1年になるだろう。各社各様に不況対策を講じるだろうが、このような時だから

こそ会員同士が信頼をベースにコミュニケーションを密にして、健全な情報交換によって互いに不況を乗り越れるよう頑張っていこう」と挨拶した。例会では景況報告および新年の抱負を披露。その後、新年会に移り、和気あいあいのうちに新年を祝った。

### 市況の底打ちを期待

#### △東北鉄鋼販売業連合会

(齋藤芳郎会長)

1月16日(金)第4回例会を仙台市内のブラザー軒で開催。齋藤会長は「市況の下落傾向が続き、冬場で出荷量が減っているが、我々は東名阪の都市部に比べて需要の低迷に免疫がある。全品種で市況が底を打つ日は近いと強く期待し、自助努力で難局を乗り越りたい」と奮起を促した。当日はメタルワン東北支社の水上博副支社長が日商岩井・木材貿易時代の海外勤務の経験談を講演した。海外での文化の相違や厳しい商談。バブアニューギニアでの貴重な体験を臨場感たっぷりに語っていた。

### お客様第1で不況を乗り切ろう

#### △北九州鉄鋼販売業組合

(小野建理事長)

このほど北九州市小倉北区の「こらゑ源」で新年会を開催し、18名が出席した。理事の岡部安満・清和鋼業九州支店長は「鋼材が暴落して惨憺たる状況だが、こういう時こそ、お客様の目線に立った商売をする、お客様に提案を行うなど知恵を働かせた商売をする、朗らかで明るく笑顔でお客様に接していく、この3点を胸に、北九州鉄鋼販売業組合は、仲良く一致団結して不況を乗り越っていこう」と述べていた。

### 足元を見てしっかりとした取り組みを

#### △神鉄連協同組合

(福永正明理事長)

1月26日(月)JR横浜駅にほど近いキャメロットジャパンで新年賀詞交歓会を開催した。出席者44名。挨拶に立った福永理事長は「百年に一度の不況と言うが、百年生きている人はこの場にはいないので、誰も経験したことはないわけである。この30～40年間でも、何度か不況はあった。それを乗り越えてきたことを思い返し、しっかりと足元を見て進んでいきたい」と述べた。来賓として招かれた全鉄連・林喜裕会長は「大河ドラマ『篤姫』に出てきた幕末の志士達は立場の違いこそあれ、日本の国を守るのだという気概があり、見ていて清々しい感じがした。これまで何度も日本は苦難を乗り越えてきた。この国を守るのは我々経営に携わる者という認識を持って、厳しい時代だが力を合わせて乗り越えていきたい」と語った。

### 今年は正念場、その先には展望が開ける

#### △福岡鉄鋼販売業組合

(鳥山昭理事長)

このほど福岡市内のANAクラウンプラザホテル福岡で恒例の新年会を開催し、関係者約40名が出席した。席上、鳥山理事長は「本当の正念場は今年。去年は、かつて経験したことのない相場の乱高下があった。その経験を生かして今年を無事に乗り切れば来年からはしばらく良い状況が続く」と見通しを述べていた。

### これからは3Cが必要

#### △広島鉄鋼特約店組合 (西本維文理事長)

1月23日(金) ホテルかけたで新年会を開催し、約30名が出席した。開会に当たり西本理事長は「チェンジ、チャレンジ、コンプライアンスの3Cが必要と言われている。状況は様々に変化している。組合もみなさんの協力を得て活発に活動している。このような状況ではあるが、互いに頑張っていこう」と挨拶した。

### 一日も早い景気回復を

#### △愛知鉄鋼販売業連合 (林喜裕会長)

1月29日(木) 名古屋市内の舞鶴館で後期総会並びに新春懇談会を開催。会員および賛助会員50名が出席。冒頭、林会長は「中国では需要が出てきている。スクラップ価格もこのところ上昇している。加えて、各国が大規模な景気対策を打っており、世界全体で180兆円もの資金が投入される。景気回復は意外と早くなる可能性もある。当面は、中国の旧正月明けのスクラップ価格や鉄鉱石の購入動向などが注目される。一日でも早く景気が回復することを祈念している」と挨拶した。

## 関連会議報告

#### 金鉄鋼課連絡会

1月28日(水)

会場 鉄鋼会館804号室

出席 松淵・芳澤(経済省) 林・木下(愛知) 西村・山岸・佐藤(東京) 阪上(大阪) 今井(北海道) 齋藤(東北) 井上(神奈川) 今井(新潟) 南(石川)

●全鉄連調べによる3地区12品種18サイズの平均市況は108,900円前月比-4,400円、前年同月比+17,100円。経済産業省からは、平成20年度経済対策等に係わる雇用調整助成金制度の見直し、主な関連需要業界の動向の2点について説明があった。詳細は鉄流懇本会議での松淵氏コメントを参照。

### 常任理事会

●1月14日(水)に実施した合同新年賀詞交歓会は来賓43名、メーカー6社34名、商社12社80名、その他22名、会員206社461名、計641名の出席者であった。なお、この催しの収支報告、会計処理については2月常任理事会で報告することだった。

●4月8日(水)9日(木)実施が予定されている第46回鉄鋼新人・中堅社員教養講座(東鉄連主催)の後援団体となることを決定。

## 第405回鉄流懇概要

## 条鋼に底入れの兆し、製造業落ち込み顕著

●東鉄連からの概況報告(山岸・佐藤)

△鉄筋…東鉄が値上げ発表したこともあって、下げのスピードが緩んでいる。北関東の電炉メーカーはスクラップ購入価格を上げている。これも下げスピードの緩和要因であろう。住宅関連の基礎杭の動きが年末からあり、現在も継続している。

△平鋼…12月、1月と荷動きは悪い。商社・メーカーでの在庫調整は10月より行われているが、思ったほどうまくいっていない。どの業種でも生産調整が実施されている。在庫調整が進展しない理由はそれによるものだろう。市中価格はジリ安が続いているが、西の方では底値感が出てきたようである。

△鋼概況…12月部会調査では前月比で在庫8%減、在庫4%減、在庫2%減。1月も12月に引き続き悪い。一般形鋼、H形鋼は去年の暮れから今年始めにかけて下げのスピードが早い。コラム、軽量はそれほど下がってはいない。

△H形鋼…ときわ会在庫がやっと減り始めた。大阪、愛知が減り、他地区は増加している。東京は12月がピークで、これから劇的に減っていくかもしれない。市中価格は東京の方が高いが、大阪、愛知で底値が出てくるかもしれない。

△一般形鋼…非常に動きが悪い。現状のメーカーネットは、相場からしていいところだと思いたいが、実際にはかなり安値が出回っている。メーカーに注文した分だけ受けてもらい、価格を動かさなければおのずと底値が見えてくる

△C形鋼…12月分科会調査では、前月比在庫31%増、在庫5%減、直接販売14%減、在庫4%減。

△広幅製品…大きな変化は見られないが、物件で大口となるとアンダーな価格が出やすい。

△コラム…物件の減少からBCRなどの物件対応は先月あたりから値下がりも見られたが、メーカーの対応や具体的な物件の減少から値下がり傾向もやや緩やかになっている。STKRについては市中在庫店が少なく、大きな値下がりはない。

△薄板概況…底が見えない状況。生産現場を持っている扱業者からは一時帰休の話も伝わってくる。また、4体3動という操業体制をとっている事業所もある。ものが動かない。市況をうんぬんする前に、売り先を見つけることが先である。

△冷延…店売りがまったく少ない。

△表面処理…需要がまったく出てこない。新潟、東北など地方の景況はさらに悪く、1週間ぐらいの仕事は見えるが、その先は見えないという不安定な状態である。コイルセンター在庫は2~3カ月半と増加傾向で在庫調整が進展していない。

△厚板耳付き・切板母材…部会調査による1月販売量は前月比29%減。中板定尺、耳付き厚板、切板などが減っている。在庫量は8.6%増。建機系のシャリング業者の在庫が増加している。注文が60~80%ダウンという急激で大幅な落ち込みを見せているので、在庫も増えているこの3月頃までは在庫増加、販売低位安定で推移するだろう。その先の状況は全く見通せない。

△中板・ホットコイル…市況はテイクアウトが早く、上値と下値の差があって中心値がわからない。車両、建築機械と総じて悪い。在庫調整を優先すべきだが、これだ

け落ち込むと思うに任せない面も多々ある。  
△厚板定尺…打つ手なし。出荷は止まったままだが、入荷は止まらず、在庫スペースがなくなっている。先安感が蔓延して、投げ売りも見られる。現状では、3ヶ月ぐらい発注をしなくても在庫で間に合う。厚板は半年ではなく、1年ぐらい泥沼状態が続くだろう。

△鋼板…定尺、切板とも量が激減している。新規の物件そのものがなくなっている。在庫が市中に溢れるほどあるというわけではない。3月頃には在庫調整の目処は付きそうだ。

△鋼管概況…11月、12月と状況は変わらず、70%操業が続いている。自動車、建機はかなりしんどい。配管系はなだらかな推移。橋梁は落ちていない。だが、予定していたものがこの1~3月に全く出ず、この点で今期が一番苦しい。フィリピン向けにメッキシームレスの輸出が決まるなど、今までになかった動きが少し出ている。

△溶協品…相変わらず悪い。メーカーを含め在庫が相当溜まっているので、どのように整理していくか難しいものがある。価格は建材に引きずられ下がっている。これだけ落ち込むと、その反動で年度内ある程度の量が出てくると期待を持っている。

## 条鋼下げ止まり、鋼板続落

●OSAからの概況報告(阪上)

10~12月期の販売は各品種とも前年比で15~30%減少7~9月比ではH形鋼、一般形鋼微減、鉄筋20%減で減少が止まず、薄板16%、鋼管11%と共に減少し、前年比では大幅な減少である。薄板、厚板、鋼管は月を追って急激な販売減。1月に入り末端流通の在庫調整は終了しマイナス仮需という動きは収束した。当用買いの範疇から出ていないが、歯抜けの補充買いも見られ、底打ちしたかな、という気はしている。実需水準は低いままで、鋼板関連は、関西では自動車比率が高くないが低調。1月は12月並か、少し減ると見ており、大きなマイナスが続くだろう。末端流通在庫のなかで一部品種にはサイズによっては品薄となっている。鉄筋でも加工屋の在庫がだいぶ調整されているようだ。ゼネコンは本格的な買いには動いていない。薄板の受託加工在庫が積み上がっている。厚板は発注を減らしているが、在庫減とはなっていない。市況は、条鋼下げ止まり、鋼板は下げが止まらず、コイル関連製品には先安感がある。原料価格値下げから価格改訂の話が噂されている。店売り紐付きの価格差是正をお願いしたい。

## 地区販売量、大きな落ち込み

●愛鉄連からの概況報告(木下)

建設、自動車などの製造業と需要の両輪が回らず、流通としては手の打ちようがない。真っ暗闇のなかにいるようだ。名古屋には物件なく大手ファブでも来年度の稼働を60%程度と見ており、下請に出す仕事を内省化している。よって、中小ファブは仕事不足となり与信が心配されている。12月期販売は急激に落ち込んだ。実績で61,900トン。当地区月平均販売量は約8万トンで、±5千トンほどのぶれで推移していた。これによっても落ち込みの度合いがわかる。11月、12月と在庫減少は続いている。在庫調整は早い段階で終わると見ていたが、鋼板関連は時間が掛かりそうだ。市況は12月、1月と大幅に値を下げた。条鋼は弱含みだが下げ渋りとなっている。鋼板は酸洗などの投げ売り見られ、紐付き品の市中逆流も

ある。厚板ではシャリング業者や熔断業者の在庫が急激に膨らんでいる。

## 地場建設業は疲弊の一途

●東北からの概況報告(齋藤)

当地区は建設向けウェートためか、急速な減速感はない。もともと地区の景況は悪く、また、このたびの大幅な落ち込みは製造業の急速な需要減退によるところが大きい。そのような背景があるので皮肉のように聞こえてしまうが急激な減退を感じていない。とはいえ月を追って販売店実績は悪化し、数量では前年比2~3割減。鉄筋の出荷が特に悪い。セーフティネット保証の申請は1月に入っても殺到状態で、これまでの保証承諾件数は1,052件、金額で357億円となっている。申請から実効まで時間が掛かるのが難点だが、これで助かっている企業も多いだろう。反面、融資を受けて倒産したところもある。地元の建設業者はひどく疲弊している。需要喚起、雇用創出の面からも公共工事の早期発注と大型財政支出の出動をお願いしたい。

## 公共関連需要のみ若干の動き

●神奈川からの概況報告(井上)

あらゆる業種で落ち込みが激しい。昨年の県内倒産は不動産分野の大型倒産もあり、金額では前年比倍増となっている。今年は幅広く様々な業種に倒産の嵐が吹きまわることになるだろう。地元のMクラスファブは3月までの仕事はあるが、その先が見えない。公共関連は着工している物件もあり、小中学校の耐震補強工事は6月から始まるそうだ。また、道路土木関連は仕事量は少ないものの予算の関係で年度末まで仕事があると聞いている。自動車、トラックの落ち込みが大きく、ユーザーの仕事量は少ない。価格動向は、12月までは下がりつつもゆっくりだったが、今は凄いスピードで下がっている。

## 製造業の落ち込み顕著

●新潟からの概況報告(今井)

自動車、建機、工作機械などの製造業向けは全減。コイルセンターの稼働は通常の3~4割減。酸洗を筆頭に価格の下落が止まらなくなってきた。今年に入り製造業の2次、3次下請でも週休4日の操業となり、資金繰りでも厳しい状況である。建設絡みの公共事業は低レベルながら前年比横ばいで推移している。唯一明るい話題は柏崎にリチウムイオン電池工場を建設するとの発表があったこと。少しでも明るいニュースが出てこない気分が落ち込むばかりだ。

## 倒産相次ぎ緊張状態続く

●石川からの概況報告(南)

北陸新幹線関連の工事で2万トンの鉄筋需要を見込んでいる。それに参加できるのはいいが、できない業者にとっては、無関係な話となる。ある建機メーカーは半年以上の製品在庫を抱えているが、夏頃には見通しが付くと言っている。医薬品メーカーは他業種より比較的好い。需要家筋の倒産が相次ぎ息が抜けない。投げ売りの話が聞かれるが、地方店はそれができない。実需の減少に対して在庫調整が追いつかない。

## これからがデカップリングか?

●林会長(総括)

昨年秋から世界景気が悪化している。トヨタの事例に見られるように、製造業がかつてないスピードで悪化。鉄鋼需要も昨秋から月を追って落ち込んでいる。まだ暫くはこうした厳しい状況が続くだろう。先般、1月14日(水)流通6団体の合同新年賀詞交歓会で経済産業省石川鉄鋼課長より「今度の不況は当初、新興国が景気を下支えするデカップリング現象になるだろうとの見方があったが、結果は世界同時不況であった。中国の最近の情勢を見ていると復興需要も少し出ているようで、むしろこれからデカップリングとなるのでは」とのお話を伺った。今後どうなるか、旧正月明けに中国の復興需要がさらに増大するのか、一過性のものなのか全くわからない。いずれにせよ世界中で思い切った景気対策が行われていることは確かだ。急激に悪くなったから、思いがけない需要が早期に顕れるかもしれない。その点で石川課長のお話を興味深く伺った。本日は小野会長をはじめ商社のみなさまのなかでスクラップ市況を含めて、最新の中国事情に触れていただければ参考としたい。

\*この後、商社・メーカーから発言があった。なお、発言内容については別紙資料3-1、3-2を参照。

## 様々な不況対策を打ち出す

### ●経済産業省(松淵)

相変わらず鋼材需要は低迷しており、メーカー各社は減産に取り組んでいるが鋼材需要減少のスピードに追いつかず、在庫は引き続き高水準。当面は在庫過多の状態から脱却する努力が必要であろう。そのためには製販一体となった、より踏み込んだ在庫の縮減、流通では実需の見極め、必要最小限の発注に取り組むことが肝要であろう。こうした大幅な需要低迷は当然、資金繰り、雇用の問題を顕在化させている。国としては原材料の高騰、世界同時不況の影響への対応として、昨年10月末に緊急保証制度をスタートさせ、対象業種の追加、信用保証協会の緊急保証枠を20兆円に拡大し、日本政策金融公庫セーフティネット貸付枠を10兆円に拡大するなど、中小企業の資金繰り対策を講じている。さらに12月11日には中堅企業、大企業を対象とする日本政策投資銀行および商工中金による低利融資、同行を活用した企業CPの買取支援を発表するなど、中小企業に加え中堅企業、大企業の資金繰り対策にも万全を期している。また、従来の厚生労働省の雇用調整助成金制度が見直され、第1次補正で中小企業雇用安定助成金制度が創設され、さらに2次補正ではその基準を緩和して使いやすいものに改正することになっている。これは中小企業が景気悪化などで休業する場合、社員に支払う休業手当などを助成するものである。こうした制度を活用して厳しい状況を乗り越えていただきたい。

## 信念と決意をもって状況に対処

### ●小野会長

年初の鉄流懇では、本来今年の展望などを申し上げるべきところだが、今年に関しては、先々の見通しを出すことは困難であり、言えることは過去例にない大変な状況にあることは間違いない、ということである。先般の米国オバマ新大統領が行った就任演説の中で「米国政府が行うこと、行なわなければならないことは、すべて国民の信念と決意にかかっている」という興味深いフレーズがあった。要するに、いろいろな分析を行っても過去の指標、足元の状況に基づいたものであることから、先

々については分からないということであり、今後に向けて我々が何をやるか、何をすべきかは、我々の信念と決意によるものであると言っている。これは、現下の厳しい状況を切り開くキーワードと思われる。この1~3月は、実需の低下と急速な在庫調整の動きに加え、需要家の買い控えといったことが加わり、実需以上に落ち込むことが予想される。JFEスチールとしては昨年既に、大幅な減産を発表し、高炉1基を休止する等、足元の状況変化に対して、素早く対応することを心掛けている。こうした対応をしっかりと行っていれば、必ずその先の新しい局面に迅速に適應できるはずである。

## 会員投稿コーナー

現下の厳しい状況を替え歌にした投稿がありましたので掲載します。

### 鉄屋のブルース\*長崎ブルースの節で

- (一) 売れば こんなに 赤字が増える  
売らなきゃ 手形が 落とせない  
どうすりゃいいのさ この不況  
在庫も値下がる かけられる  
ああ せつない 鉄屋のブルースよ
- (二) 憎い値下げの 新聞相場  
つられて投げ売る やるせなさ  
どうにもならない 競争ばかり  
あしたの さだめはどうなるの  
ああ 危うい 鉄屋のブルースよ
- (三) 夢も希望も 薄れた空に  
つめたく凍てつく 冬枯れよ  
いのちをかぎり 燃えつきて  
むなしく散りゆく 落葉のよう  
ああ みじめな 鉄屋のブルースよ

### 会員企業消息(平成20年12月1日~21年1月31日)

#### 〔所在地・代表者変更など〕

○(株)メタルワン建材(東鉄連・京橋)~本社所在地を千代田区丸の内1-8-1丸の内トラストタワーN館に移転。電話03-6895-7777、FAX03-6895-1900に変更(2月16日より新所在地で業務開始)。

○関根鋼材(株)(東鉄連・京橋)~代表者に関根信行氏が就任した。

○(株)メタルワン・スチールサービス(東鉄連・神田)~本社所在地を中央区日本橋大伝馬町5-7に移転、電話03-5642-8720、FAX03-5642-8730に変更。

### 会員入退会(平成20年12月1日~21年1月31日)

#### 〔入会〕

\*該当事項なし

#### 〔退会〕

\*該当事項なし

(了)

1月26日締切で、当会役員167名に対し、このアンケートを行ったところ、98名(58.7%)から回答があり、その結果(太枠内)が下記の通りまとまりましたのでご報告いたします。

\*DI算出方法 = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 回答数×100

価格安、数量激減で厳しい売上

【問1】貴社の12月(先月)の総売上金は、前年同月比べ如何でしたか。

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	売上	A	B	C	D	E	計	12月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	前年比	10%以上増	5%以上増	ほぼ横ばい	5%以上減	10%以上減		DI
▲74	▲22	36	34	34	▲45	▲53	▲39	▲95	▲82	▲96	▲122	数量	3(3%)	3(3%)	12(12%)	18(19%)	61(63%)	97	▲135
▲53	4	4	110	110	59	+81	+95	+51	+72	+43	▲18	金額	15(16%)	11(11%)	16(17%)	18(19%)	36(37%)	96	▲51

年明け後も販売激減状態続く

【問2】貴社営業窓口から見て1月(今月)の販売量は前月比如何ですか。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	販売量	A	B	C	D	E	計	1月		
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	前月比	かなり増加	やや増加	ほぼ横ばい	やや減少	かなり減少		DI		
▲82	▲59	▲34	▲87	▲89	▲75	▲64	▲84	▲52	▲74	▲96	▲100	公共建設向			3	20	23	29	75	▲104	
▲84	▲47	▲18	▲67	▲82	▲60	▲54	▲79	▲63	▲84	▲112	▲123	民間建設向			2	10	27	44	83	▲136	
▲15	2	2	▲24	▲40	▲28	▲33	▲51	▲22	▲79	▲110	▲153	自動車向				3	18	32	53	▲155	
▲47	▲8	1	▲41	▲59	▲48	▲41	▲67	▲36	▲63	▲97	▲124	その他需要家向				15	28	40	83	▲130	
▲52	1	3	▲53	▲69	▲47	▲52	▲80	▲64	▲78	▲106	▲124	仲間取引				2	13	20	38	73	▲129
▲61	▲25	▲11	▲58	▲71	▲54	▲50	▲74	▲50	▲75	▲104	▲123	計				7	61	116	183	367	▲129

赤字企業増加、DI値マイナスへ

【問3】貴社の12月(先月)の企業収益状況は、如何ですか。

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	企業	A	B	C	D	E	計	12月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	収益状況	黒字	赤字	赤字トシ	赤字	赤字		DI
16	38	116	142	143	128	133	137	106	106	83	19		10(10%)	18(18%)	24(25%)	19(19%)	27(28%)	98	▲36

先行きも需要減止まらず

【問4】貴社における向う3ヶ月間の需要動向についての予測は如何ですか

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	需要動向	A	B	C	D	E	計	1月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	予測	増加	微増	ほぼ横ばい	微減	減少		DI
▲29	18	2	▲32	▲30	▲28	▲26	▲34	▲4	▲98	▲124	▲151		1(1%)	5(5%)	13(13%)	23(24%)	56(57%)	98	▲131

在庫調整進まず過剩感蔓延

【問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	需要状況	A	B	C	D	E	計	1月		
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	足割角虫	非常に不足	やや不足感	ほぼ需要均等	やや過剰気味	非常に過剰		DI		
2	13	41	40	44	17	+15	4	▲8	▲35	▲54	▲72	鉄筋用丸鋼			1	23	22		46	▲46	
▲6	10	19	15	26	11	▲2	▲4	▲7	▲20	▲30	▲50	構造用丸鋼				30	14	5	49	▲49	
▲9	11	31	43	22	15	+9	▲4	▲14	▲40	▲43	▲51	平角鋼			1	26	25	1	53	▲49	
▲3	37	86	97	93	56	+32	7	▲13	▲55	▲31	▲75	H形鋼			2	22	24	4	52	▲58	
▲27	▲4	59	93	95	94	+80	58	+44	0	▲31	▲57	コラム			1	17	17	4	39	▲62	
▲15	12	45	40	30	21	+8	▲11	▲20	▲51	▲45	▲63	小形山形鋼			1	28	25	4	58	▲55	
▲13	13	49	48	34	16	+11	▲7	▲24	▲53	▲48	▲60	中形山形鋼			2	30	21	5	58	▲50	
▲10	20	79	78	61	48	+31	12	▲4	▲40	▲48	▲59	溝形鋼			1	28	21	7	57	▲60	
▲25	▲15	8	12	2	▲3	▲15	▲20	▲29	▲40	▲47	▲66	軽量形鋼C形				21	24	4	49	▲65	
▲12	▲14	13	16	5	2	+3	▲3	▲14	▲22	▲34	▲58	軽量形鋼広幅				16	15	2	33	▲58	
12	45	91	69	73	46	+32	2	▲2	▲43	▲47	▲83	冷延薄板				14	28	8	50	▲88	
12	48	87	75	52	32	+19	▲3	▲17	▲48	▲67	▲83	熱延薄板				17	34	10	61	▲89	
±0	36	82	67	57	34	+12	▲8	▲18	▲39	▲58	▲77	表面処理鋼板			1	15	29	6	51	▲78	
39	100	135	98	65	34	+20	▲14	▲29	▲71	▲82	▲89	酸洗鋼板			1	12	25	14	52	▲100	
11	69	92	78	48	44	+17	▲4	▲10	▲52	▲63	▲86	中板				21	32	10	63	▲83	
63	90	105	122	102	88	+86	76	+66	+38	▲2	▲35	厚板			1	36	19	3	59	▲41	
83	100	118	120	113	102	+110	100	+92	+70	+31	+11	極厚板			5	27	5	1	38	▲5	
▲4	5	42	49	20	25	+9	7	+4	▲26	▲33	▲28	縞板			1	32	18	1	52	▲37	
▲17	▲9	22	26	13	10	+9	0	▲6	▲30	▲37	▲36	中径角			1	27	23	2	53	▲49	
▲14	▲7	24	28	13	12	+13	0	▲4	▲21	▲25	▲38	ガス管・黒			1	37	12	3	53	▲32	
▲17	▲6	23	25	15	2	+4	▲6	▲5	▲20	▲25	▲41	構造用鋼管				32	13	2	47	▲36	
2	26	61	60	47	34	+24	7	▲2	▲30	▲40	▲58	計				20	511	446	96	1073	▲58